

議会 だより



鳴門市
NARUTO CITY

No.

108

目次

女性議会	②～③
令和元年第2回定例会の提出議案と議決結果	④
請願の処理、人事案件	④
委員会審査	⑤～⑥
議員表彰	⑥
一般質問	⑦～⑭
委員会視察	⑭～⑮
市民の広場、第3回定例会の予定	⑮



発行／鳴門市議会
編集／議会広報委員会
発刊／2019年(令和元年)9月1日

<https://www.city.naruto.tokushima.jp/gikai/>

【女性議会 令和元年7月30日開催】



議会を開催しました～

開催日：令和元年 7 月 30 日(火) 於：議場
女性議員 22 名（高校生 4 名、大学院生 2 名、一般 16 名）



竹下 早慧子 さん

Q. 「世界にはばたく鳴門の子どもたち育成プラン」の海外派遣により何を得ることを理想としているのか。

A. ドイツのリューネブルク市に隔年で親善使節団として中高生を派遣しており、ホストファミリーとの生活や現地の学校の授業を体験している。異文化理解や英語習得への意欲が高められ、豊かな国際感覚と、コミュニケーション能力、確かな英語力とともに、姉妹都市交流の担い手育成に繋がるものと期待している。



三井 恵玲奈 さん

Q. 障害のある人もない人も暮らしやすい共生社会を目指す鳴門市として、身体障害者会館の維持・運営についての考えは。

A. 建物の老朽化や設備の不具合など、身体障がい者の皆様にとって使いにくい状況であることは認識している。平成 29 年 3 月策定の公共施設等総合管理計画に基づき、新庁舎建設に併せ、公共施設の再配置や他施設への集約などを積極的に検討していきたい。



佐藤 蘭 さん

Q. 共働きの家族が増えるに伴って、病児保育の重要性が増す傾向にあるが、新たな実施施設の設置予定は。

A. 『病児・病後児対応型』と『体調不良児型』の病児保育事業ともに資金面のみならず看護師の安定的な人材確保など多くの課題があり、実施箇所数に変化がない状況である。今後も引き続き、私立保育所と調整を図るとともに、公立保育所での事業実施について関係者と協議を重ねるなど、適切に対応していきたい。

議 員



榎並 貴美子 さん



叶井 和子 さん



佐々木 由紀 さん



野口 洋子 さん



原田 福美 さん



山本 恵美 さん



山田 佳世 さん

Q. 市公式ウェブサイトについて、常に最新情報をお知らせできる体制の整備を求める。市立図書館は耐震化されたが、現在も地震対応の避難場所として掲載されていない。

A. 業務担当部署で最新情報への更新やわかりやすい内容掲載に努めている。適宜チェックを行い、迅速かつ正確な情報提供に努める。市立図書館は、指定に向けての手続きを行っており、誤解を与えないよう、手続完了後に掲載することとしている。



田淵 梨子 さん

Q. エシカル消費の推進のため、鳴門市の農水産物すべてが揃う産直市や道の駅を整備する考えは。

A. 産直市などは、地産地消がエシカル消費の一環であることなどを効果的に周知できる場所である。今年 8 月 2 日には J A 大津松茂の農産物直売所「えがお」が、令和 3 年度中には本市の道の駅がオープンする予定であり、相互に連携を図り、賑わいづくりやエシカル消費の普及啓発などを行っていきたい。



河野 理名 さん

Q. 高齢者ドライバーの事故防止策として、アクセルとブレーキの踏み間違い防止装置の購入に対する補助についての考えは。

A. 東京都が高齢者に対して急発進防止装置の取り付け費用の補助を表明し、徳島県でも同様の補助制度を創設する方針が示されている。本市としては、国の動向や徳島県などの先行事例を調査研究していきたい。現時点では、徳島県の補助制度の周知啓発を図りたいと考えている。

女性議会

～議会への関心を深めていただき、
女性の政治参画を推進するため女性



高田 博子 さん

Q. 『産前・産後ケア事業』の策定時には、実際の新生児育ての状況を検証したのか。また、利用者の感想は。

A. 受け入れ先となる医療機関スタッフ同行のもと先進自治体を視察するなど、実施に向けた協議を重ねた。『産前・産後ケア事業』の利用者アンケートでは、「家事の負担が減り産後の疲労感が軽減された」「赤ちゃんをかわいいと思えるようになった」など前向きな感想が寄せられた。今後も継続的な支援を行っていく。



林 侑希 さん

Q. 小学生が犠牲になる交通事故が多発している。通学路の修繕やガードレールの設置などが必要では。

A. 国や県、市、鳴門警察署、学校関係者などが合同で市内の通学路の安全点検を実施しており、危険な箇所については、立哨指導の必要性の再確認や信号機の設置、路面標示の新設などを行っている。通学路の修繕や歩道・ガードレールの整備なども含め、引き続き関係機関と協議しながら取り組みを進めていく。



芝野 秀美 さん

Q. 人口を減らさないため移住者を増やすことが重要だが、市の施策は。

A. 移住に関する相談や問い合わせに一元的に対応する「鳴門市移住交流センター」を設置しており、空き家などの住まいに関することや就職先の企業情報・起業支援に関すること、移住支援制度に関することなどの相談を受けている。今後は、市内のホテルなどに移住パンフレットを設置するなど積極的なPRを行い、移住人口の増加に努めたい。



八木 知子 さん

Q. 体育館や温水プール、ジムなどを併設した、市民が多目的に利用できる新しいスポーツ施設の整備をどのように考えているのか。

A. 市民会館と勤労者体育センターの機能を併せ持つスポーツセンターの整備について、規模や機能、立地条件、管理運営方式などさまざまな観点から検討を進めている。室内温水プールの併設についても、費用面の課題はあるが、調査研究する必要があると認識している。

議長



矢野 壽美子 さん

副議長



秋山 敬子 さん



先田 仁美 さん

Q. 子どもたちが安全に通学できるよう、また、立哨指導による各家庭の負担を軽減するため、学童擁護員を配置してほしい。

A. 現状で継続的・定期的に交通指導員や学童擁護員の配置を行うことは担い手不足などのため困難な状況であると考えている。このため、交通量の多い箇所では立哨指導の必要性の再確認や信号機の設置などソフト・ハード両面にわたるさまざまな取り組みを継続的に実施している。



村 正美 さん

Q. 今後の外国人観光客の交通手段の利便性向上に関し、具体的にどのような対策を考えているのか。

A. 路線バスの充実を図ることが重要であると考え、これまでもバス会社や関係機関と連携しながら、できる限り観光客に配慮した対策を行ってきた。また、二次交通の確保は重要な課題となっており、今後は大きな視野に立ち、イーストとくしま観光推進機構などの関係機関と連携しながら検討したいと考えている。



吉田 景子 さん

Q. 海岸の漂着ゴミが目立つ。ゴミを捨てさせないため、どのような取り組みを行っているのか。

A. 市の関係部署や鳴門市水産振興協議会などの関係団体と情報共有する中で、注意喚起の啓発などを継続して実施していく。また、より多くの方に環境美化活動に参加していただけるよう、各団体が実施している海岸清掃活動のスケジュールなど環境美化活動の推進に関する情報の発信を図る。

《 令和元年 第2回定例会の提出議案と議決結果 》

議案番号	案 件	議決結果	所管の 委員会
議案第37号	専決処分の承認について（平成30年度鳴門市一般会計補正予算（第 5 号））	承 認	予算決算
議案第40号	令和元年度鳴門市一般会計補正予算（第 1 号）	原案可決	
議案第38号	専決処分の承認について（鳴門市税賦課徴収条例等の一部改正について）	承 認	総務文教
議案第41号	災害による市税の減免に関する条例の一部改正について	原案可決	
議案第42号	鳴門市火災予防条例の一部改正について		
議案第48号	徳島県市町村総合事務組合規約の変更について		
議案第39号	専決処分の承認について（鳴門市介護保険条例の一部改正について）	承 認	生活福祉
議案第43号	鳴門市重度心身障害者等に対する医療費の助成に関する条例の一部改正について	原案可決	
議案第44号	鳴門市道路占用料条例の一部改正について	原案可決	産業建設
議案第45号	鳴門市河川占用料条例の一部改正について		
議案第46号	鳴門市下水道条例の一部改正について		
議案第47号	鳴門市漁港管理条例の一部改正について		
報告第 1 号	繰越明許費繰越計算書について（平成30年度鳴門市一般会計予算）	報 告	予算決算
報告第 2 号	繰越明許費繰越計算書について（平成30年度鳴門市公共下水道事業特別会計予算）		
報告第 3 号	繰越計算書について（平成30年度鳴門市水道事業会計予算）		
報告第 4 号	繰越計算書について（平成30年度鳴門市モーターボート競走事業会計予算）		
報告第 5 号	弾力条項の適用について（平成30年度鳴門市モーターボート競走事業会計予算）		
報告第 6 号	鳴門市国民保護計画の改訂について	報 告	総務文教
報告第 7 号	専決処分について（損害賠償の額の決定）		
報告第 8 号	専決処分について（権利の放棄について）		
同意第 1 号	固定資産評価員の選任について	同 意	
同意第 2 号	副市長の選任について	同 意	

請願の処理

請願番号	案 件	審議結果	所管の委員会
請願第4号	増田建築19施設の保存・顕彰などの検討に関する請願書	不 採 択	総務文教

請願第3号 日本政府に「核兵器廃止条例の調印・批准をすることを求める」意見書採択を求める請願書については、委員会の審査において継続審査となりました。引き続き総務文教委員会で審査を行う予定です。

人 事 案 件

「同意第1号」

●固定資産評価員 **いわした 岩下 彰秀** 氏（撫養町）

「同意第2号」

●副市長 **たに しげゆき 谷 重幸** 氏（撫養町）

総務文教委員会

●議案第38号

専決処分承認について（鳴門市税賦課徴収条例等の一部改正について）

地方税法などの改正に伴い、所要の改正を行う必要が生じたもので、事務執行上、急を要したことから専決処分したものの。

【質疑】 令和3年度分以降の個人住民税の非課税の範囲に、合計所得金額が135万円以下の単身児童扶養者が加わるようになるが、新たに何名程度の方が対象となるのか。

【回答】 平成31年4月時点においては、新たに7名の方が対象となる。

【質疑】 消費税率の引き上げに伴う税制改正により、市の歳入としてどの程度の増減を見込んでいるのか。

【回答】 例えば、個人住民税における住宅ローン控除の延長に伴う歳入の減少については、国費で補填されることとなっており、増減はないものと考えている。

【意見】 税制度は複雑であるため、市民の方が理解しやすいような周知・広報の方法を検討してほしい。



生活福祉委員会

●議案第39号

専決処分承認について（鳴門市介護保険条例の一部改正について）

介護保険法施行令の改正に伴い、所要の改正を行う必要が生じたもので、事務執行上、急を要したことから専決処分したものの。

【質疑】 この条例改正により介護保険料が軽減される被保険者は何名くらいなのか。

【回答】 令和元年6月1日時点で約7500人が対象となり、第1号被保険者全体に占める割合としては、約39パーセントである。

産業建設委員会

●議案第46号

鳴門市下水道条例の一部改正について

消費税率の引上げに伴い、所要の改正を行うもの。

【質疑】 下水道加入者の負担はどうなるのか。

【回答】 下水道加入者の負担には、加入時の受益者負担金と使用料がある。受益者負担金については、消費税の影響はない。使用料については、一般家庭の平均水量で考えた場合、消費税引き上げ後は1ヶ月あたり76円の費用負担が増えることになる。

予算決算委員会

●議案第40号

令和元年度鳴門市一般会計補正予算（第1号）

過疎地域である北灘町を対象に交付する補助金や幼児教育・保育の無償化に伴うシステム改修、プレミアム付商品券事業の実施に要する経費などについて補正を行うもの。

【質疑】 プレミアム付商品券

事業の効果は。

【回答】 プレミアム付商品券

発行の対象者数は市内で約1万5500人、発行総額は3億8750万円を見込んでいる。市内の店舗のみで使えること、お釣りが出ないため商品券の金額以上の購入も予想されることから、経済効果としては、3億8750万円以上の効果があると考えている。

【意見】

これまでに同様の事業が実施されてきたが、その結果、「以前から購入予定であったものを商品券で購入した」という方が多く、これでは経済効果があったとは言えないため、税金の別の使い道を国や県に提案するべきである。



★議員表彰★

第2回定例会閉会日に、全国市議会議長会および四国市議会議長会より特別表彰を賞された議員に対して、議長より表彰状の伝達が行われました。

《全国市議会議長会》
【特別表彰】
《四国市議会議長会》
【特別表彰】



みつ よしひろ
三津 良裕 議員
(20年以上在職)

《四国市議会議長会》【特別表彰】



さとう きぬこ
佐藤 絹子 議員
(32年以上在職)



ふじた しげお
藤田 茂男 議員
(28年以上在職)



はしもと くにかつ
橋本 国勝 議員
(24年以上在職)



のだ きよゆき
野田 稔之 議員
(24年以上在職)



あきおか よしろう
秋岡 芳郎 議員
(16年以上在職)

一般質問

代表質問

① 藤田 茂男(会派 潮)

1. 市長の政治姿勢について

- (1) 公共施設等総合管理計画について
- (2) インバウンドについて



④ 松浦 富子(会派 公明党)

1. 市長の政治姿勢について

- (1) 持続可能な開発目標 (SDGs) について
- (2) 観光行政について



② 秋岡 芳郎(会派 創心クラブ)

1. 人口減に対する市長の政治姿勢について

- (1) 人口減少の現状と鳴門市総合戦略について
- (2) 子育て支援について (特に就学前教育について)
- (3) 住みやすい環境について

2. 上水道広域化について

- (1) 浄水場広域化事業について

⑤ 宅川 靖次(会派 平成なると)

1. 第六次鳴門市総合計画について

- (1) 市民参画と協働によるまちづくりについて

2. 環境行政について

- (1) ひとりぐらしのゴミ出し支援について

3. 交通行政について

- (1) 高齢者の免許自主返納について

③ 橋本 国勝(会派 有志会)

1. 福祉行政について

- (1) 超高齢社会に向けての取り組みについて
- (2) 地域福祉計画及び地域福祉活動計画について

2. 地域づくりについて

- (1) 地域ボランティアの発掘・育成について

⑥ 長濱 賢一(会派 青藍)

1. 新庁舎建設について

- (1) 新庁舎建設事業の概要と進捗状況について
- (2) 発注方式について
- (3) 新庁舎建設に係る市民への情報開示について

2. まちづくり行政について

- (1) 公共施設等総合管理計画及び立地適正化計画について
- (2) 文化財の保存・利活用について
- (3) 公衆無線LANの整備について

3. 道路整備について

- (1) 市道の整備計画について
- (2) 道路照明灯等LED化事業について

問 外国人の集客・受け入れには、こ

観光事業者などと連携した
インバウンドへの取り組みを

答 消防分団の再編や公立学校の再編、新庁舎の集約や公立保育所の統合が図られているとともに、今後、個別施設計画において、目標数値が達成できるよう最大限取り組んでいきます。

問 公共施設等総合管理計画では、基本目標が2点示されている。①施設の総量の削減が市民サービスに与える影響を十分考慮しつつ、今後40年間に公共施設の総延べ床面積を20%以上削減し、施設総量の適正化を図る。②予防保全型の維持管理への転換を図り、施設の長寿命化を推進することと、ライフサイクルコストの縮減を図るとともに、安全・安心な公共施設の整備に努める。総延べ床面積20%以上の削減見通しについて伺う。

公共施設等総合管理計画
施設総量最適化の見通しは



会派 潮
ふじた しげお
藤田 茂男



各団体と連携したインバウンド事業を

れまで以上に観光事業者をはじめ、観光関係団体と一体となって取り組むことが重要ではないかと思う。インバウンド対策の現状と今後の取り組みは。

答 瀬戸内四都市広域観光推進協議会では、香港、台湾をターゲットに、現地の旅行会社やメディア関係者を招いたFAMツアーを行い、昨年は香港の旅行会社2社および雑誌社2社、インフルエンサー1名を招き、4都市をめぐるツアー造成や雑誌・SNSなどによる情報発信を実施しました。引き続き関係機関との連携を図り、情報発信に努めるとともに、外国人観光客の目線に立った受け入れ環境整備などの各種施策を行ってまいります。



会派 創心クラブ
あきおか よしろう
秋岡 芳郎

人口減の現状からの対策は

問 鳴門市は、平成27年に人口ビジョンと鳴門市総合戦略を策定し、令和2年の国勢調査で5万7500人の目標人口を設定したが、今年4月、5万7381人となり目標人口を切った。今後の方針は。

答 若い世代の近隣市町への転出が目立っており、子育て・教育環境や雇用環境、住環境が要因であると分析しています。次期総合戦略の策定に向け社会情勢を捉え、各施策の見直しを図ります。

幼児教育の無償化への対応は

問 今年10月から幼稚園、保育所、認定こども園などの利用料が無償化されるが、本市の対応は。

答 保育料が無償となり、経済的負担の軽減になりますが、一部無償化の対象とならない場合もあるため、混乱を来さないよう情報発信します。

要望 ニーズに合わせた本市独自の

教育・保育対策を関係課で協議し、対応するよう要望する。

安心・安全なまちづくりを

問 災害時の避難所運営およびマニュアルの内容と南海トラフ震源域の片側で巨大地震が発生した半割れケースの対応を伺う。また、水害時の排水機場長寿命化計画について伺う。

答 避難所運営マニュアルでは、運営は地域住民の自主運営を基本とし、市職員は後方支援に努めることとしています。また、事前対策、初期対応、組織編成などのほか、要配慮者や男女の視点に立った運営についても定めています。半割れケースの場合も国のガイドラインに基づき適切に対応してまいります。今年度は、浸水時の被害額が甚大となる人口密集地域を中心とした17機場について、長寿命

化計画を策定し、常に十分な機能が發揮できるように、維持管理してまいります。



鳴門市 避難所運営マニュアル



会派 有志会
はしもと くにかつ
橋本 国勝

超高齢社会に向けての取り組みは

問 高齢者に関する事件事故が多発している。超高齢社会に向けての取り組みは。

答 2025年の高齢社会像である、高齢者が住み慣れた地域でみんな支え合いながら、健康で安心安全な暮らしを自分らしく生き生きと、尊厳を持って送ることができるよう、社会に向けた取り組みを進めています。高齢者の方々を取り巻く状況の変化に的確に対応できるよう、これまでの成果や課題を踏まえつつ、地域の実情やニーズに即した取り組みを推進し、健康長寿のまち鳴門を目指してまいります。

持続可能なボランティア活動を目標して

問 高齢化と人手不足によりボランティア活動が続けられない、活動の活性化ができない状況になりつつある。ボランティア団体の持続

可能な体制づくりにどのような取り組みのか伺いたい。

答 現在、ボランティアセンターには109団体が登録され、さまざまな分野で活躍されています。高齢化や人材不足、ボランティア活動への参加意欲の低下は、持続可能な地域づくりにとって大きな課題であると考えています。ボランティア団体が実践している活動を、地域・学校・企業などが一緒になって実施すること、新たなボランティア活動の広がりも期待できるため、関係団体の参加を呼びかけていきたいと考えています。

要望 ボランティア活動をさらに活発にし、持続可能なシステムにするためには、市民と行政の協働の観点から自治体（職員）が意識を変えて参加しなければならない。



鳴門市ボランティアセンター
(社会福祉協議会内)



会派 公明党
まつうら とみこ
松浦 富子

持続可能な開発目標 SDGsの取り組みは

問 人口減少社会が加速度的に進展する中、地方創生に取り組む上で本市のSDGsについての認識は。また、本市の持続可能な健全財政の維持についての現状と今後の取り組みは。

答 国では、2016年5月に第1回SDGs推進本部会合が開催され、今後、SDGsの目標達成に向けた取り組みが進められていくと認識しています。次期総合戦略の策定にあたっては、現行の総合戦略の事業分析、効果検証を行うとともに、本市を取り巻く社会情勢を的確に捉えた上で、SDGsの理念をしっかりと踏まえ、各施策の見直しや改善を行い、持続可能な地域社会実現に向けた実効性のある計画策定を進めてまいります。持続可能な財政運営については、さらなる歳入の確保や歳出の削減などに努め、スピード感を持って取り組みを進めてまいります。

観光客の受け入れ環境の 充実を

問 本市の今年のゴールデンウィーク期間中の観光客の現状と鳴門公園周辺における観光客の受け入れ環境改善についての考えは。

答 主要な観光施設では、大塚国際美術館の来場者が最も多く7万4126人、渦の道は6万1825人、ドイツ館は2575人と多くの観光客に越えたいいただきました。鳴門公園周辺の二次交通の充実については、本市の観光を考える上で非常に大きな課題で、マイカーを使用しない外国人観光客の増加に伴い、ますますニーズが高まるものと認識しています。大塚国際美術館来場者の増加に伴う鳴門公園への観光客の増加に対応するため、関係機関と協議を行っているところと



賑わう大塚国際美術館



会派 平成なると
たかかわ やすじ
宅川 靖次

市民参画と協働のまちづくりの取り組みは

問 持続可能な地域活動のあり方や市民活動のあり方をどう考えているのか。

答 重要な視点のひとつとして、活動人口の比率をいかに高めるかが鍵になると考えています。We Love e となるとまちづくり活動応援補助金は、各種組織との連携事業も行政提案型の事業に取り入れており、地域内での各種組織間の連携などの促進を図るとともに、採用事業全般を通じて市内の活動人材の掘り起こしにも寄与していると考えています。

一人暮らしのゴミ出し 支援の取り組みは

問 高齢者のゴミ出し支援について考えなければならぬ時期にきている。今後の支援体制とその方向性を伺いたい。

答 環境省が複数の自治体でゴミ出し支援のモデル事業を実施し、限ら

れた予算の中でどのような支援ができるのか、課題と解決策の検証を行い、ガイドラインを作成することとしているので、これまでの取り組みを続けるとともに、環境省から示されるガイドラインに沿った対応も検討してまいります。

運転免許返納後の 生活支援の取り組みは

問 免許返納後の交通手段の確保について、今後の方向性は。

答 地域交通政策を総合的かつ長期的な観点で見据えながら、県や事業者と連携し、課題解決に向けて取り組んでまいりたいと考えています。**要望** タクシーの運賃割引などの支援について、検討していただくよう強く要望する。



自主返納後も高齢者が安心して暮らせる環境を



会派 青藍
ながはま けんいち
長濱 賢一

新庁舎建設に 地元企業の参加を

問 新庁舎建設の基本設計業務をプロポーザルによる公募とし、実施設計と施工はデザインビルド方式として一括発注を予定しているが、地元企業が参加できない要件となり、地元企業育成や地域経済の循環にはメリットがなくなることをご考へるのか。

答 基本設計と実施設計・施工については、一括発注ではなく別公募とします。地元経済への波及効果なども考へしながら、地元企業とのコンソーシアムも検討してまいります。

まちづくりをどう考へる (立地適正化計画・文化財・ICT)

問 徳島県では、旧4市の中で鳴門市以外の3市は立地適正化計画の策定に取り組んでいる。本市にも必要と考へるが、本市の考へは。

本市に19も現存する増田建築全体をどのように考へているのか。文化会館の存廃議論をどうするのか。ま

た、有形文化財の登録については。公衆無線LANの整備に関し、本市の現状と今後の整備計画を伺う。

答 立地適正化計画の策定については、都市計画マスタープランの見直しに含めた中で検討したいと考へています。

増田建築については、今後、19施設の保存・顕彰について具体的に検討してまいります。



増田友也氏の遺作
鳴門市文化会館

公衆無線LANの整備については、市内16カ所の公共施設に整備しています。

市道に安心安全を

問 市道の舗装修繕計画について、どのように計画していくのか。また、昨年提案した、道路照明灯等LED化事業を今年度実施することとなっているが、その内容と状況を伺う。

答 市道約590kmのうち、主要路線約130kmの舗装修繕計画を策定します。10年間のリース方式で市内のすべての道路照明灯や防犯灯のLED化を図ります。

個人質問

① 佐藤 絹子

1. 危機管理行政について

- (1) 避難所の確保について

④ 宮崎 明

1. 救急・救命時における外国人、聴覚言語障がい者への円滑な対応について

- (1) 119番通報及び現場対応の実態について
- (2) 安心安全に繋がる消防通信設備の整備について

2. 地域資源を活用した地域活性化について

- (1) 大麻放牧場の活用について

3. 文化財等の歴史資源を保護・活用した地域振興について

- (1) 堀江地区の文化財の保護・活用の現状と課題及び保存活用の方策について
- (2) 「重要文化財保存活用計画」及び「文化財保存活用地域計画」の策定について
- (3) 文化財保護事務について

② 高麗 裕之

1. 結婚支援について

- (1) 婚活に関する取り組みについて
- (2) 婚活事業の実施について
- (3) オリジナル婚姻届について

2. 交通行政について

- (1) 鳴門市の交通安全対策について

3. 観光行政について

- (1) 鳴門公園周辺における渋滞対策について

⑤ 浜 盛幸

1. 防災行政について

- (1) 災害時の情報伝達について

2. 文化交流行政について

- (1) 板東俘虜収容所の史実を通じた平和学習について

3. 観光行政について

- (1) インバウンドへの取り組みについて

③ 三津 良裕

1. 産業振興について

- (1) 企業の誘致について
- (2) 新規雇用者について

2. 安全なまちづくりについて

- (1) 危険な河川の管理について
- (2) 道路の安全確保について
- (3) 危険家屋について

3. 国際交流について

- (1) バングラデシュとの友好交流について

⑥ 平塚 保二

1. 水環境問題について

- (1) 下水道事業について

2. 消費者行政について

- (1) 消費者被害への取り組みについて

⑦ 上田 公司

1. 環境行政について

- (1) クリーンセンターについて

2. 道路行政について

- (1) 鳴門駅西側の地下空洞について



さとう きぬこ
佐藤 絹子
(平成なると)

東馬詰集会所の建て替えを

問市民から東馬詰集会所を南海トラフ巨大地震にも対応できるように集会所に建て替えて欲しいとの要望があった。想定される津波は3メートル、避難は北島北小学校、松茂スマートインターへのこと。現存の集会所は、昭和43年建築で51年経過している。いざ、大地震が来たときに、より安心して安全に誰もが避難できるよう、要望してきたと思う。この地元住民の考え、思いについて本市の考えを伺う。

答集会所については、平常時は地域コミュニティの中核をなす施設として、また、災害が発生した場合には避難所としての側面を有しています。東馬詰地区では、東馬詰集会所を台風通過時などの指定緊急避難場所と大規模災害時に家が失われたときなどに一定期間避難する指定避難所としています。洪水のおそれがある場合は、堀江南小学校、また、津波への対応は

堀江南小学校や松茂パーキングエリア、浄水場などを指定しています。東馬詰集会所を含む92カ所の集会所については、公共施設等総合管理計画に基づき、令和2年度末までに個別施設計画を策定し、今後の方針を示すこととしています。

要望地元住民は、大地震に備え耐震化され、浸水しない高さのがっちりした建物を建ててもらえれば、より安心できる。要望して良かった、助かるべき命が助かったと言ってももらえるよう、市長が先頭に立って取り組んでいただきたい。



1968年建築 東馬詰集会所



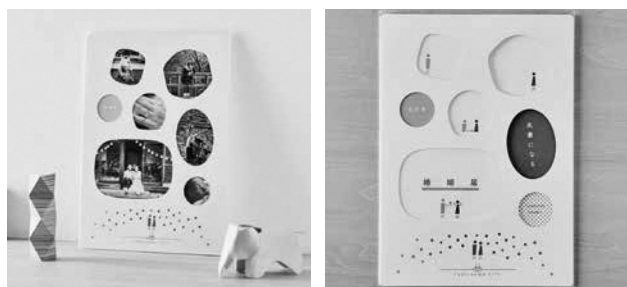
こうらい ひろき
高麗 裕之
(有志会)

人生の節目において忘れられない記念を

問思い出に残る婚姻届を作成することにより、忘れられない記念になる。県外の他市でも、さまざまな観点から結婚の記念となるオリジナル婚姻届を作成しているが、本市もオリジナル婚姻届を作成してはどうか。

答戸籍法などに定める必要事項を具備した上で、婚姻届にイラストや写真などを取り込んだ届出書の提出が多く見受けられます。オリジナル婚姻届を作成すること、で、結婚という人生の節目を迎える節目を迎える

節目を迎える節目を迎える



プレミアム婚姻届 (東京都立川市)

えられる2人を祝福するとともに、記念として思い出に残すこともできます。作成については、今後、さまざまな方法を調査してまいります。**要望**結婚という人生の大イベントをサポートできるよう、さまざまな方法を調査していただきたい。

交通事故ゼロを目指して

問最近、交通事故の報道が多いため、事故を未然に防ぐ取り組みを強化する必要がある。住み慣れた地域で、子どもから高齢者まで安心して暮らしていくために、本市では交通安全対策について、どのような取り組みをしているのか。

答悲惨な交通事故をなくすために、本市ではすべての世代の方を対象に交通安全教育を推進しています。高齢者を含めたすべての世代の方に交通事故の悲惨さ、交通ルールを守ることの大切さを伝え、交通事故防止を図っていきたいと考えています。

要望交通安全対策の一層の普及に努め、交通事故のない社会の実現に向けて一層の取り組みをしていただくよう要望する。



みつ よしひろ
三津 良裕
(創心クラブ)

産業振興の取り組みは

問 鳴門市の企業誘致、市内の農業者の雇用状況は。

答 平成29年度は、企業1社が開業して新規雇用が36人ありました。認定農業者403人のうち、180人が将来の耕作規模の拡大や高齢化への対応のため、新規雇用として5年以内に65人の常用雇用と490人の臨時的雇用を計画しています。

安心安全なまちを目指して

問 老朽化した空き家は倒壊などで近隣に被害を及ぼす危険性がある。また、市内の国道・県道・市道で茂った雑草が道路をさえぎり、街路樹の根が周辺の歩道を盛り上げて、通行に危険な所がある。道路のデコボコの状態は安全性からも問題である。どのように対応していくのか。

答 本市の空き家は1442戸、その中で倒壊の危険性が高い空き家は92戸あります。所有者に適正な管理を呼び掛けています。

市道の雑草等は業務委託や職員による除草などを行います。市道のデコボコは、職員の道路パトロール、市民の皆様の連絡などから損傷箇所の状況を把握し、小規模な損傷は職員が緊急的な対応を行います。

主要路線の維持補修は、路面性状調査を実施した上で、修繕の優先度と内容を定める「舗装修繕計画」を2カ年で策定し、計画的な維持補修に取り組みます。

バングラデシュとの

友好交流を

問 徳島日本バングラデシュ友好協会が主催するバングラデシュ展が開催されるなど、官民挙げての交流が深まる中、バングラデシュとの友好都市提携についての考えは。

答 民間交流や社会情勢などを勘案しながら、ナランゴンジ市との友好都市提携も含め、相互発展ができる友好交流の方法を模索します。



バングラデシュ展に展示されている「リキシャ」



みやざき あきら
宮崎 明
(青藍)

通報者の安心に繋がる消防通信システムの導入を

問 国では、外国人や会話が不自由な聴覚・言語障がい者の119番通報に円滑に対応するための消防通信システムの導入を促進しているが、本市の考えを伺う。

答 緊急時により迅速かつ的確に対応するため、システム導入を検討中です。

荒廃した大麻放牧場の有効活用を

問 休牧中の大麻放牧場の今後の活用は。

答 資源の有効活用は地域活性化に向けて重要であると認識しています。大麻放牧場は農業振興地域、農用地区域に指定され



大麻放牧場 牧舎

ており、法による規制などの課題もあるが、今後も民間の活用も視野に入れ、有効活用の可能性について検討したいと考えています。

要望 休牧後、既に19年が経過している。地域活性化策として農水省が主導し全国各地に整備されている農業公園も含め検討するよう提言する。

歴史資源を保護し活用した地域振興を

問 堀江地区内に群を成す文化財の保護と活用の現状と課題、保存活用上の方策を伺う。

答 除草などを実施し保存に取り組んでいるほか、史跡説明板の新設や改修を順次行っています。保存状況調査未実施の文化財については、実態把握を進めてまいりたいと考えています。文化財に関心を持って頂くには、市内外への広報が課題であり、公式ウェブサイトの実装を進めています。

要望 大谷焼や醸造元、藍染工房などとともに文化財群を「まちづくり構想」に即した「生きた地域資源」として練り上げ、保存活用する取り組みと体制の整備を要望する。



はま せいこう
浜 盛幸
(公明党)

学校などヘリアルタイム で災害情報の伝達を

問各学校などに設置されている戸別受信機と放送設備を連動させることで施設全体にリアルタイムで災害情報を伝達できるようにする。本市の考えは。

答近年、システムの導入を検討する自治体も増えていきます。本市でも緊急的な情報を一刻も早くすべての児童・生徒・教員に伝えることが重要であると認識しています。リアルタイムでの放送については、今後、各施設の放送機材の状況、施設規模、国・県の支援の状況を総合的に判断し検討してまいります。

防災シールの導入を

問平成30年7月豪雨を踏まえ、国は水害・土砂災害からの避難について5段階の警戒レベルの運用を開始した。この警戒レベルと住民がとるべき行動、防災行政無線の再生応答サービスを記したシールを作成し、

市内全戸に配布してはどうか。
答今後、防災シールなども含め、幅広く検討を行い、市民の安全・安心の向上に努めます。

板東俘虜収容所の 史実を全国に

問修学旅行誘致の進捗状況とインバウンドの考えを伺う。

答日本旅行協会の雑誌に収容所跡地やドイツ館の紹介が掲載されました。本年度は、誘致パンフレットなどの資料づくりに取り組み、旅行業者などと連携を図りながらPRしていく予定です。インバウンドでの誘致も視野に入れ、学習内容やコースなどを工夫し、歴史や平和学習に結びつけたいと考えています。



ドイツ兵俘虜との歴史を伝える
ドイツ村公園



ひらつか やすじ
平塚 保二

本市の消費者被害の実態は

問消費者詐欺事件は、ほぼ毎日と言って良いくらい発生している。このような中、近年、高齢者を中心に消費者トラブルが増加し、悪質化・深刻化してきているが、本市の消費者トラブルの実態と鳴門市消費者被害防止見守りネットワークの成果について伺う。

答本市の消費生活相談センターに寄せられた相談件数は、平成30年度で354件であり、架空請求などの特殊詐欺と思われるものや通信販売などの契約トラブルに関する相談が多くを占めていました。本市では、消費者トラブルに関する出前講座の開催や啓発グッズの配布、鳴門市消費者協会や鳴門警察署などとの合同による振り込め詐欺防止キャンペーンの実施など幅広い啓発活動を行っています。また、見守りネットワークについては、消費者被害の現状やその対策について協議するとともに、鳴門市消費生活センターの周知や特

殊詐欺への注意喚起を行っていた
だくようお願いしています。

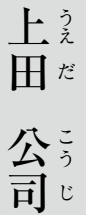


鳴門市消費生活センター (うずしお会館 4F)

下水道整備事業の 進捗状況と今後の計画は

問下水道第2期事業の進捗状況と第3期事業の計画について伺う。

答下水道第2期事業の進捗状況については、約78ヘクタールの事業区域のうち供用開始面積は約49ヘクタール、進捗率は約63%であり、来年度末に完成する見込みです。下水道第3期事業については、第2期事業の見通しがついたため、黒崎地区と桑島地区の約62ヘクタールを今年度から7年間で整備する予定です。



適正管理が求められる
鳴門市クリーンセンター

問 今でも二次燃焼室出口で800度を切ることや1号炉のスラグ除去が直近2カ月で60回近くに及ぶことを市は認識しているのか。

問平成23年9月に発生した鳴門駅西側の地下空洞に関して、実際は沈下しているにも関わらず、市は「5年後の沈下は調査していないため確認できていない。また、ビル側の空洞を埋戻しすれば歩道が設置できる」と、原因がビル側にあるかのよう

に説明し、全く協力姿勢を示さないまま、現在まで追加調査も改善もせず放置しているが、当時調査を行った大学教授は「歩道側の地下空洞が商業ビル沈下の原因」という趣旨の所見を述べていることから、早急に調査・改善を行うべきだと考えるが、今後どのように対応するのか。

答 今後は、市が検討を行う市道の復旧方法などについて、隣接地所有者2者に情報提供し、協力を得られるよう配慮したいと考えています。

総務文教委員会
〈7月2日(火)～3日(水)〉

◎林 勝義／○平塚 保二／長濱 賢一／
橋本 国勝／松浦 富子／山根 巖

「ネーミングライツ制度の導入について」、「債権管理条例について」〈野洲市〉

東近江市にて

野洲市にて



生活福祉委員会

〈7月18日(木)～19日(金)〉

【視察委員】(○委員長・○副委員長)

○上田 公司／○潮崎 憲司／東 正昇／
佐藤 絹子／藤田 茂男／宮崎 明／野田 粹之

●視 察 先 愛知県大府市(7月18日)／滋賀県近江八幡市(7月19日)

●視察事項 「認知症予防および認知症対策事業について」〈大府市〉
「環境エネルギーセンターについて」〈近江八幡市〉

大府市では、認知症予防および認知症対策事業について行政視察を行いました。認知症予防については健康増進課、認知症対策については高齢障がい課が支援し、全庁的に取り組んでいました。国立長寿医療研究センターなどとともに認知症共同研究推進事業を行っており、認知機能検査などを内容とした「プラチナ長寿健診」や脳と身体機能を同時に活性化させる「コグニサイズ」といった運動を実施していました。認知症になりにくいまちづくり、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりについての取り組みを伺い、今後の参考になりました。



近江八幡市環境エネルギーセンターでは、最新鋭のごみ処理施設の運転状況、維持管理や実際の環境性能などを視察しました。ごみの焼却とともに、排ガス・灰・空気の流れなどを自動運転により管理し、安定燃焼を行いながら高い安全性と環境への負荷低減を両立していました。健康ふれあい公園が隣接しており、温水プールやスポーツ広場が整備され、指定管理者や地域住民との協働により運営されていました。温水プールは熱回収施設から発生する余熱を有効に利用するシステムを採用しており、経済的かつ環境に優しい施設でした。



産業建設委員会

〈7月3日(水)～5日(金)〉

【視察委員】(○委員長・○副委員長)

○三津 良裕／○高麗 裕之／秋岡 芳郎／
宅川 靖次／圃山 俊作／浜 盛幸／東谷 伸治

●視 察 先 青森県弘前市(7月3日)／山形県南陽市(7月4日)

●視察事項 「前川国男建築を活かしたまちづくりについて」〈弘前市〉
「南陽市役所ラーメン課による地域活性化について」〈南陽市〉

弘前市では、前川国男建築を活かしたまちづくりをしていました。前川国男建築とは、建築家の前川国男氏が手がけた作品で、モダニズム建築とよばれる従来の建築様式にとらわれない独創的なデザインが特徴の建築物でした。前川氏が建築したモダニズム建築は弘前市内に8ヵ所現存し、生活に密着した公共建築が多くあり、市役所や市民会館、市立病院などの見学を行いました。弘前市では、前川国男建築のパンフレット作成やひろさき^{まんじがく}出学など市民一人ひとりが愛着と誇りを感じる取り組みを行い、まちづくりに活かしていました。



南陽市役所ラーメン課は、南陽市が他県・他市町の人に教えてあげたいものについて中・高生へのアンケートを実施したところ上位にラーメンが入ったことをきっかけに発足したものでした。ラーメン課は正式な部署ではなく南陽市役所ラーメン課R&Rプロジェクトというプロジェクト名でした。このプロジェクトは、ラーメン店の売り上げ増加ではなく、観光や宿泊の増加といった地域活性化を最終目標としていました。また、大学と連携したラーメンマップの作成や全国からラーメン課員を募集するなど、南陽市の知名度アップに大きく貢献していました。



市民の広場



鳴門市議会では、市民の皆さんが議会をより身近に感じられるような議会だよりをめざして、日々取り組んでおります。

本紙をお読みになり感じたことや疑問点などがありましたら、議会事務局まで手紙・ファクス・Eメールなどでおよせください。

- ① 議会だより紙面について（感想、ご要望など）
- ② 議会のしくみや専門用語についての疑問など

※内容についてお問い合わせさせていただくことがありますので、住所・氏名・年齢・性別・電話番号を明記してください。

… 市民の皆さんのご意見をお待ちしています …

✿ 宛先 ✿ 鳴門市議会事務局

〒772-8501 徳島県鳴門市撫養町南浜字東浜170番地
TEL (088) 684-1234 FAX (088) 684-0814
Email gikai@city.naruto.i-tokushima.jp



《傍聴にお越しください》

第3回定例会は下記の日程で開催予定です。

本会議、各常任委員会の傍聴ができます。ぜひお越しください。

・本会議…議場

（受付：東側階段より3階議場入口）

・委員会…委員会室

（受付：中央階段またはエレベーターで3階議会事務局）

当日、受付にて氏名、住所、年齢をご記入ください。傍聴券をお渡しし、係員がご案内いたします。

令和元年第3回定例会の予定（9月11日～10月2日）

日	月	火	水	木	金	土
9月8日	9	10	11 開会／本会議 予算決算委員会 全員協議会	12 一般質問 通告締切	13	14
15	16	17 一般質問(代表)	18 一般質問(個人)	19 一般質問(個人)	20 総務文教委員会	21
22	23	24 生活福祉委員会	25 産業建設委員会	26 予算決算委員会	27	28
29	30	10月1日 議会運営委員会 全員協議会 議会運営委員会	2 本会議／閉会 予算決算委員会 全員協議会	3 予算決算委員会	4	5
6	7 予算決算委員会	8 予算決算委員会	9 予算決算委員会	10	11	12

■はケーブルテレビ中継とインターネット中継、■はインターネット中継を行います

議会を動画で見よう！

本会議と委員会はインターネットによる生中継と録画配信を行っています。また、本会議はテレビ鳴門でも生放送に加え、録画放送を行っています。ぜひご覧ください。

《議会広報委員会》

委員長：宅川 靖次
副委員長：秋岡 芳郎
委員：林 勝義・松浦 富子・佐藤 絹子
宮崎 明・三津 良裕・高麗 裕之
圃山 俊作

■会議録を見よう■

次の2つの方法で一般質問などの内容を詳しく確認することができます

【窓口で見る】

- ① 市役所本庁舎3階の議会事務局へお越しください
- ② ご覧になりたい会議録をお伝えください

【ウェブサイトから見る】

- ① 「鳴門市議会」を検索
- ② 鳴門市議会公式ウェブサイト内の「会議録検索システム」からご覧になりたい会議録を検索

URL <http://ssp.kaigiroku.net/tenant/naruto/pg/index.html>

